

令和7年度公共ホール音楽活性化支援事業

～音楽の力で地域に活力を～

チェロ ピアノ
加藤文枝、中川賢一
with 山梨交響楽団



令和8年1月17日(土)

開場 13:30 、 開演 14:00

笛吹市スコレーセンター「集会室」
山梨県笛吹市石和町広瀬 626-1

ガーシュウィン/ラプソディー・イン・ブルー
サン＝サーンス/チェロ協奏曲第1番
チャイコフスキー/バレエ「眠れる森の美女」より ほか

一般 1,000 円 高校生以下 500 円
*前売り券が完売した場合は、当日券はございません

全席自由

プレイガイド

笛吹市スコレーセンター ☎ 055-263-7959
YCC 県民文化ホール ☎ 055-228-9131
内藤楽器本店 ☎ 055-235-7110



©Shin Yamagishi



©Shuhei NEZU

【主催】: (公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団
【助成】: (一財)地域創造
【問合せ】: スコレーセンター TEL055-263-7959



©Shin Yamagishi

チェロ 加藤文枝 Fumie Kato

東京藝術大学音楽学部器楽科チェロ専攻卒業。学内にて、安宅賞、アカンサス賞、三菱地所賞受賞。同大学院修士課程卒業、アカンサス音楽賞受賞。パリ市立音楽院を満場一致の首席で卒業。

平成23年度京都市芸術文化特別奨励者。2011・2012年度ローム ミュージック ファウンデーション奨学生。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。2006年より1年間、パリ・エコールノルマル音楽院に給付生として入学。京都芸術祭「世界に翔く若き音楽家たち」に出演、奨励賞受賞。

第8回ビバホールチェロコンクール第1位。第13回松方ホール音楽賞、併せて特賞受賞。第8回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。FLAME 国際コンクール(パリ)第3位。

現在、一般財団法人地域創造「公共ホール音楽活性化支援事業」登録アーティスト。これまでに、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、藝大フィ

ルハーモニア管弦楽団、スーパー・クラシック・オーケストラ等のオーケストラ、小林研一郎、湯浅卓雄、円光寺雅彦、現田茂夫、三ツ橋敬子、本名徹次、阪 哲朗、岩村 力等の指揮者と共演のほか、日本各地でのソロ・リサイタル、室内楽コンサートに多数出演。

2020年、デビュー・アルバム「パルファム」をエクストン・レーベルよりリリース、好評を博している。

https://twitter.com/kato_fumie

ピアノ 中川賢一 Ken'ichi Nakagawa

桐朋学園大学音楽学部でピアノを専攻し、同時に指揮も学ぶ。卒業後渡欧し、ベルギーのアントワープ王立音楽院を首席修了。在学中にフォルテピアノ、チェンバロも習得。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。サントリー・サマーフェスティバル、東京の夏音楽祭、武生国際音楽祭、仙台クラシックフェスティバルに度々参加。

1998年帰国後はソロ、室内楽奏者、指揮者として活動。新作初演も多い。NHK-FM、NHK-BS クラシック倶楽部に度々出演。ダンスや朗読など、他分野とのコラボレーションも多く、様々な対象へピアノ演奏とトークを交えたアナリーゼを行い好評を得ている。

地元参加型の舞台作品制作などに指揮者・編曲者として携わる他、未就学児参加可能な演奏会、幼児向けの音楽会のプロデュースも数多く行っている。

2015年3月「ふえふき協奏曲」(長尾淳作曲)で梨響チェンバーオーケストラと共演するなど、これまで笛吹市に度々登場してきた。

音楽監督を務めたフィリップ・グラス作曲オペラ「浜辺のアインシュタイン」では令和4年度第77回文化庁芸術祭大賞受賞。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、(公財)ソニー音楽財団の「こどものためのクラシック」各登録アーティスト。「アンサンブル・ノマド」、5台ピアノ「ピアノ・ツィルクス」、「Trio “N”」各メンバー。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。

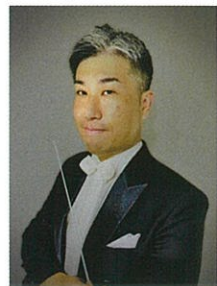
公式ホームページ <http://nakagawakenichi.jp>



©Mika Oizumi

管弦楽 山梨交響楽団 Yamanashi Symphony Orchestra

1973年創立。約70名からなるアマチュアオーケストラ。2023年10月に創立50周年を迎え、2024年7月には世界的指揮者小林研一郎氏のタクトにて第50回記念定期演奏会を開催。年に一回の定期演奏会および笛吹市スコレーセンターや双葉ふれあい文化館でのコンサートの開催、県内の小中学校などを巡回して行う山梨芸術劇場の実施、県立美術館でのニューイヤーコンサートなどの活動を行っている。1998年には芸術振興と長年の地道な活動に対して、山梨県から音楽団体としては初の県政功労者表彰を受賞、2025年には山日 YBS グループ主催による野口賞を受賞した。



指揮 古屋雄人 Yuto Furuya

山梨大学大学院教育学研究科音楽教育専攻修了。'07年に渡欧、ドイツを拠点に、ドイツ国立ケルン音楽大学やスイス国立チューリッヒ音楽大学で、マスタークラスや聴講クラスに参加する等研鑽を積む傍ら、ポザウネンコアやイギリスでブラスバンドに参加する。日本演奏家協会主催第1回東京サミット音楽コンクール審査員賞受賞(トランペット)、日本現代音楽協会主催現代の音楽展2009《サクソフォン・フェスタ》作品公募入選(作曲)。これまでに、トランペットを中山隆崇、清水夢、Claudio Rippers、アンサンブルをAxel Stock、作曲を藤原嘉文、指揮を古藤寛の各氏に師事。